

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院 女性総合診療部 秋谷 文

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 秋谷 文

当院における にんようせい 妊孕性温存治療の現状に関する研究

1.研究の対象

2014年から2023年までに妊孕性温存治療目的に当院リプロ外来を受診された方

2.研究の目的・方法

当院の生殖医療センターでは、がん患者さんの「妊孕性温存治療（胚、卵子、卵巣組織、精子の凍結保存など）」について妊孕性温存外来（通称リプロ外来）を開設しています。2021年から国の研究促進事業として、妊孕性温存治療を行う際に国（と自治体）による助成金制度が開始となりました。それに伴い、リプロ外来を受診される方とその後妊孕性温存治療を行う方の人数に変化があったかを調査し、妊孕性温存治療の選択、実施に費用がどのくらい影響しているかを検討することを目的としております。

なお、この調査では診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみです。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年12月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年10月15日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、年齢、妊孕性温存治療を要する原疾患、行った妊孕性温存治療の種類 など